

遺伝医療関係者と報道関係者 による合同シンポジウム

-メディアに求めること，メディアが求めること-

近年，新型出生前診断や乳がんの遺伝子検査，体質関連遺伝子の検査など，遺伝医療が身近になってきています。そして，各種メディアでも，遺伝子の話題，遺伝と関連した疾患の話題などが日常的に取り上げられるようになってきました。

遺伝に関わることは，医学的なことだけでなく，倫理的・社会的にも解決すべき問題がまだまだ残っています。そこで，メディア，患者団体・患者支援団体，そして遺伝医療の関係者が集まって，遺伝に関する相互理解を深め，社会啓発を推進させるための集いを企画しました。

プログラム

- | | |
|----------------------------|---|
| 1. 基調講演
(13:00～13:30) | 福嶋義光
(日本人類遺伝学会理事) |
| 2. シンポジウム
(13:30～16:00) | 水戸川 真由美 (日本ダウン症協会)
太宰 牧子 (HBOC患者会 Clavis Arcus)
館林 牧子 (読売新聞社)
今村 裕治 (日本放送協会) |

開催日時

2015年5月17日(日)

13:00～16:00 (12:30開場)

会場

AP品川アネックス 会議室A+B

東京都港区高輪3-23-17

品川センタービルディング1F

(品川駅高輪口より徒歩約3分)

参加無料 (定員100名，要事前申込)

以下のURLもしくはQRコードよりお申し込み下さい。

<http://bit.ly/1Cg8c3g>

(受付開始: 2015年4月17日午後4時)

主催

日本人類遺伝学会 教育推進委員会

日本遺伝カウンセリング学会 遺伝教育委員会

担当 三宅秀彦 (京都大学)

連絡先 jsgcedubasic@gmail.com

